

つくばで輝く研究者



国立科学博物館の
標本保管室で

GUNJI Megu 郡司 芽久 さん(30)

国立科学博物館 動物研究部
脊椎動物研究グループ 学振特別研究員 博士(農学)

東京都出身。東京大学農学部卒業後、同大大学院で農業生命科学研究科を専攻。博士号(農学)取得後、2014年に日本学術振興会特別研究員となり、2017年から国立科学博物館動物研究部で脊椎動物の研究を行う。この7月にキリン博士になるまでのエピソードを綴った著書『キリン解剖記』(ナツメ社)が発刊された。

《動物の解剖研究》



パリの博物館で
オカビの骨格標本を観察

解剖も経験。座右の銘は「NOMINA(名前)ヲミナシテテ(ラテン語で名前)を忘れよ。言葉にとらわれず目の前にあるものをそのまま観察しなさい」という教えだ。動物の不思議な世界をひも解くカギは固定観念を持たないこと。解剖から学ぶことはたくさんあります。

《キリン大好き少女》

東京都生まれ。幼少期から動物が好きで、特にキリンに魅かれた。自主性を大切にする母親の後押しもあり、動物に係わる仕事に就くことを夢見て大学は農学部を選択。当初は獣医師を志したが、「動物の生死に立ち会

キリン好きから動物研究の道へ

所と世界的にトップクラスのため、数多くの動物遺体を解剖する機会に恵まれていた(研究後は骨格標本として博物館に展示される)。これまでの10年間で解剖したキリンは30頭。「もしかして世界で一番キリンを解剖しているかも」と笑顔。また、アマミノクロウサギやダチョウなど貴重な動物の

つくばの暮らし

大学院で出会った夫と一昨年に結婚し、現在は東京都内に在住。つくば駅から研究所までサイクリング通勤しています。つくばは自然豊かで街並みもきれいで、快適にお気に入りの街です。



須磨水族館で
ペンギンに餌やり

世界のあしたが見えるまち。

つくば市委託事業